



図3 排泄アウターと排泄インナーの組み合わせの目安
この一覧はあくまでも目安。組み合わせの原則は「排泄アウターに立体ギャザーがあるものには、そのなかに入る排泄インナー（立体ギャザーからはみ出さないもの）を選ぶこと」である。「フラット」といわれる大きな紙シートは、立体ギャザーの間には入らず、非常に使いにくいので、適切なアウターがない

尿パッドは1枚での使用が原則

原則として尿パッドは1枚で使います。尿パッドを重ねると、尿パッドを固定するテープ止め紙おむつなどの立体ギャザーが低くなり、漏れやすくなるためです。また、隙間ができやすくなり、それも漏れにつながります。さらには前述のように股間が開くなど、身体の動きを損なうことにもなります。

通気性

尿パッドの裏面の防水フィルムには通気性のあるものとまったくないものがありますが、できるだけ通気性のあるパッドを使いたいものです。

尿パッドの選択

尿パッドには軽失禁用から大吸収用まであり、1枚で1000 mlほどの尿を吸収できるものもありま

す。また、尿を吸収していないときはそんなに厚みがなくても、尿を多量に吸収すれば2 cmを超える厚みになるものもあります。

パンツ型紙おむつ専用尿パッド

2つに畳めるものや3つ折りのものがあります。自分で交換する人の場合などは、3つ折りのパッドでは背中側のパッドが内側に折れやすくなります。折れた状態では尿を弾いて漏れやすく、また防水フィルムが皮膚の負担を増大させるため、2つ折りの尿パッドのほうが使いやすいといえます。

両面吸収パッド

防水フィルムがまったくない特殊なパッドです。どのように使っても尿を吸収するため、褥瘡のほうへ尿が流れないようにするなど、使い方は自在



図4 布のホルダーパンツ・ソフットガードオープンタイプ（ニシキ）

です。ケアを受ける人の身体の状態により、どうしても股間に隙間ができて漏れやすい場合などにも役立つことがあります。

長方形の吸水シート（フラットシート）

これを尿パッドのように使うことは禁物です。テープ止め紙おむつなどの立体ギャザーを潰して尿漏れしやすくなるうえ、通気性がないために蒸れやすく、痒みの原因にもなります。

尿パッドを固定するもの（排泄アウター）

尿パッドを固定するものとして、ベッドの上で交換しやすいテープ止め紙おむつやパンツのように上げ下げできるパンツ型紙おむつなどがあります。これらはその人の身体機能や交換のしやすさで選択します。

テープ止め紙おむつもパンツ型紙おむつもそれぞれ1枚で尿を吸収しますが、装着や交換の手間などから、そこに尿パッドを1枚入れて使用することも少なくありません。尿パッドを使用する場合は、排泄アウターにある立体ギャザーを潰さないようにすることが重要です。

布製の尿パッド専用ホルダー（図4）

尿パッドを固定するものは紙製品だけではあり



図5 テープ止め紙おむつの装着法

A：テープ止め紙おむつの下のテープは、大転子を覆わないように高い位置で止める。上のテープは、真横に当てると隙間ができやすいため、骨盤を包むように斜め下に止める（これらは原則であり、体型や状態により異なる場合がある）
B：このように大転子を覆ってしまうと足を動かすに難しく、足を動かしたときに隙間ができやすいため、尿が漏れやすくなる

ません。布製の尿パッド専用ホルダーもいろいろなものが市販されています。そしてそれらは一般に通気性がよく、皮膚へのストレスが少なく、何度も使えるという利点があります。さらにごみの軽減などにも役立ちます。

前が開く布のホルダーは、尿瓶なども使いやすいため、おむつ以外での排泄の可能性も広がります。

テープ止め紙おむつ装着のポイント（図5）

テープ止め紙おむつを装着する際は、身体を動かすに難しく、そのうえで尿が漏れにくいようにす